

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 令和5年12月25日

事業所名:ドレミ児童リハビリセンター サービス種類:(例:児童発達支援、放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・長期休暇中は狭いと感じる	・はい 16件(61%) ・いいえ 1件(5%) ・どちらともいえない 4件(15%) ・わからない 5件(19%) ・基本車イスばかり乗っている印象です。活動場が狭く狭い印象です。	・増築を検討中
	2 職員の適切な配置	・機能訓練指導員の配置に不足を感じる	・はい 14件(53%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 3件(12%) ・わからない 9件(35%) ・利用したばかりでわかりません。	・基準を満たした配置をされているが、機能訓練指導員増員を検討
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・できている	・はい 23件(88%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 0件(0%) ・わからない 3件(12%)	・定期的な設備点検を実施
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・営業終了後の清掃、支援員の定期的な換気、アルコール消毒を行っている	・はい 20件(76%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 4件(15%) ・わからない 2件(9%)	・整理整頓、感染症対策の継続
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・朝礼で1日の予定確認を行っている ・回覧も作成し、朝礼やミーティングに参加出来ない職員にも共有できるよう努めている		・現状維持
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・法人内で監査を行っている		・現状維持
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・委員会を設置し定期的に会議・研修を行っている		・現状維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・計画を立てる月に面談をし日々の様子や変化、要望を聞き取りしている。その内容と施設での様子から今後の課題を検討し作成している。	・はい 24件(92%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 2件(8%) ・わからない 0件(0%)	・現状維持
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者からの要望を聞き、施設での様子を伝え、課題を見出し作成している		・現状維持
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・要望をもとに保護者や支援者等、誰がみてわかりやすいような内容、具体的な取り組みを記載している		・現状維持
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・実施できている	・はい 24件(92%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 1件(4%) ・わからない 1件(4%)	・現状維持
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・利用者様の個々の特性を理解し職員間で意見を出し合い立案している	・はい 16件(61%) ・いいえ 1件(4%) ・どちらともいえない 2件(9%) ・わからない 7件(26%) ・利用したばかりでわかりません。	・現状維持
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・休日は昼食後に午後からのみ利用であったが冬期休暇より午前からの開所を行う		・祝日営業について協議する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・本館利用者：製作や散歩、体を動かす遊び等季節に合わせて実施。 ・別館利用者：1つのプログラム大体2週間～1ヶ月程かかり、完成したら次のプログラムへと移行していく。 ・季節ごとの大きなイベント時は本館・別館児童が合同でプログラムを行うこともある等固定化しないように取り組んでいる。		・活動プログラムが固定化しないよう協議を重ねていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・日々の職員配置表があると共に朝礼を行い、1日の特記事項等は伝えるようにしている		・現状維持
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・職員回覧ノートで共有している 特に大切なこと等は随時カンファレンスを行い話し合っている		・現状維持
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・毎日、カルテの記録を行っている		・ソフトの導入を検討し、業務の効率化を図る
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・最長で半年に1度の計画書の更新と定期的なモニタリングの実施、状況変化があった場合は半年を待たずに更新している		・現状維持	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・児童発達管理責任者、必要あれば看護師、機能訓練担当職員が参加し、議事録を作成している		・現状維持
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・必要があれば実施している		・現状維持
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・必要があれば実施している		・現状維持
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・幼稚園からの移行会議はないが、契約時、相談員や保護者を通し児童発達支援事業所や幼稚園からの情報をいただいている		・現状維持
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・卒業前に障がい福祉サービス事業所が集まり、移行支援会議がある。その際には必ず参加している		・現状維持
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・実施できていない		・積極的に研修に参加していく
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・実施できていない	・はい 1件(4%) ・いいえ 9件(34%) ・どちらともいえない 3件(12%) ・わからない 13件(50%) ・なくても大丈夫です。 ・利用したばかりでわからないです。	・検討していく
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・実施できていない		・現状維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・見学、契約時に必ず説明している	・はい 24件(92%) ・いいえ 1件(4%) ・どちらともいえない 0件(0%) ・わからない 1件(4%)	・現状維持
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・実施している	・はい 24件(92%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 2件(8%) ・わからない 0件(0%)	・現状維持
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・相談等があった場合の対応はしているが積極的な実施はしていない	・はい 10件(38%) ・いいえ 4件(12%) ・どちらともいえない 1件(8%) ・わからない 11件(42%) ・利用したばかりでわかりません。	・現状維持
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎時に様子を伝えている。状況変化がある場合は電話にてその他アセスメント時(年2回)機会をつくっている	・はい 25件(96%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 1件(4%) ・わからない 0件(0%)	・現状維持
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談等があった場合の対応はしているが積極的な実施はしていない	・はい 22件(84%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 3件(12%) ・わからない 1件(4%) ・利用したばかりでわかりません。	・現状維持
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・実施できていない	・はい 2件(8%) ・いいえ 13件(50%) ・どちらともいえない 3件(12%) ・わからない 8件(30%)	・現状維持
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情を受けた際には迅速な事実確認を行い保護者へ説明する等の対応を合わせて、苦情対応記録作成しスタッフで改善するよう努めている。	・はい 17件(65%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 0件(0%) ・わからない 9件(35%) ・苦情がない ・利用したばかりでわかりません。	・現状維持
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・アセスメント実施時や送迎時にコミュニケーションを取っている	・はい 22件(84%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 0件(0%) ・わからない 4件(16%)	・現状維持
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎週空き状況の配信やその他情報をLINEで配信 ・インスタグラムでの活動を発信している	・はい 13件(50%) ・いいえ 2件(8%) ・どちらともいえない 2件(8%) ・わからない 9件(34%) ・利用したばかりでわかりません。	・現状維持
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報2階事務所の鍵付き棚に保管している 個人情報保護の研修を実施している	・はい 26件(88%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 0件(0%) ・わからない 3件(12%) ・利用したばかりでわかりません。	・現状維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と周知徹底している	・はい 18件(70%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 1件(4%) ・わからない 7件(26%) ・利用したばかりでわかりません。	・都度、更新していく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・水害時避難年1回、消防訓練年2回実施	・はい 10件(38%) ・いいえ 0件(0%) ・どちらともいえない 2件(8%) ・わからない 14件(54%) ・利用したばかりでわかりません。	・話し合いを重ね、災害に備えていく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・年1回会議実施		・現状維持
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・利用契約後に委員会での身体拘束の取り扱いを決定する。また、計画書更新毎に身体拘束の同意書を作成し同意をいただいている。日々の状況変化が無いが記録はカルテに記載。個別支援計画書にも記載。同意書は計画書更新時に合わせて更新。		・現状維持
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーに関しては契約時に保護者からの聞きとりであり医師からの指示ではない。		・今後必要があれば医師からの指示をいただく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・少しでもリスクがある場面に遭遇した際には、ヒヤリハットを作成し改善案を提示し共有している		・現状維持